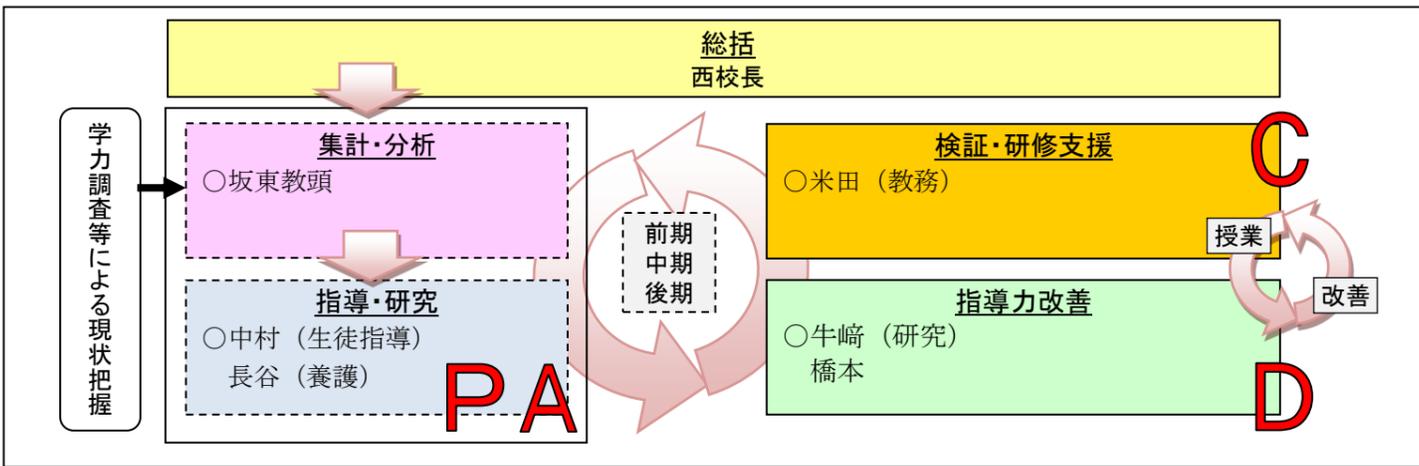


# 令和4年度 蛸島小学校学力向上ロードマップ



6年県評価 2二 14.3%, 2三 28.6%, 3二 14.3%

月	行事等	① 総括	② 集計・分析	③ 指導・研究	④ 指導力改善	⑤ 検証・研修支援
4	「組織的な授業研究」推進研修	学校目標の設定 学力向上方針提示	考えやまとめを適切に表現する力が弱い	【通年】帯タイム、ノート指導・点検、条件作文、読書活動の充実 話す聴く力の育成、1学期ガッツテスト	校内研究共通理解 ICT活用研修	【通年】毎週木曜日WAの会 ノートチェック（月末） 児童アンケート（月末） 検証テスト（月末）
5	「組織的な授業研究」推進研修 県基礎学力調査 市学力調査 ベネッセテスト 全国学力・学習状況調査	学力向上の取組方針の情報発信	問われていることに、適切に表現することができる子にする	スキルアップ 家庭学習強化週間	1年：自分の考えを伝えられるように指導する。 2～4年：主語・述語・キーワードを確認する。 5・6年：課題や発問に応じた内容や文末になっているか確認する。 ・教諭研究授業（日）	授業参観シート（整理会） ノートチェック（月末） 児童アンケート（月末） 検証テスト（月末）
6					・対話するときの聴く反応の言葉を使えるようにする。 ・書くときに必要なポイントを確認する。 ・教諭研究授業（日）	授業参観シート（整理会） ノートチェック（月末） 児童アンケート（月末） 検証テスト（月末）
7	県基礎学結果公表 学力向上セミナー		・自校誤答分析 ・クロス集計 ・課題発見・原因究明	ノート展覧会	・対話するときの聴く反応の言葉を使えるようにする。 ・書くときに必要なポイントを確認する。 ・教諭研究授業（日）	授業参観シート（整理会） ノートチェック（月末） 児童アンケート（月末） 検証テスト（月末）
8	全国学力・学習状況調査結果公表 学力向上フォーラム	目標の設定確認	目指す姿 つけたい力の 見直し			
9			問われていることに、適切に表現しよう（60%）	2学期ガッツテスト	・問われていることに、主述、キーワードを意識づけて書くようにさせる。 ・より良い表現を提示する。 ・対話の中で問い返しの言葉が使えるようにする。 ・教諭研究授業（日）	授業参観シート（整理会） ノートチェック（月末） 児童アンケート（月末） 検証テスト（月末）
10				スキルアップ	・問われていることに、主述、キーワードを意識づけて書くようにさせる。 ・より良い表現を提示する。 ・対話の中で問い返しの言葉が使えるようにする。 ・教諭研究授業（日）	授業参観シート（整理会） ノートチェック（月末） 児童アンケート（月末） 検証テスト（月末）
11		学力調査結果の説明（保護者説明会）		スキルアップ ノート展覧会 家庭学習強化週間	・問われていることに、主述、キーワードを意識づけて書くようにさせる。 ・より良い表現を提示する。 ・対話の中で問い返しの言葉が使えるようにする。 ・教諭研究授業（日）	授業参観シート（整理会） ノートチェック（月末） 児童アンケート（月末） 検証テスト（月末）
12	「組織的な授業研究」推進研修 県評価問題 ベネッセテスト	目標の設定・確認	目指す姿 つけたい力の 見直し	・自校誤答分析 ・課題発見・原因究明	・問われていることに、主述、キーワードを意識づけて書くようにさせる。 ・より良い表現を提示する。 ・対話の中で問い返しの言葉が使えるようにする。 ・教諭研究授業（日）	授業参観シート（整理会） ノートチェック（月末） 児童アンケート（月末） 検証テスト（月末）
1	評価問題結果				・対話でお互いの考えを深められるようにする。 ・書いた考えやまとめを共有し、問われていることに適切に表現できているか児童同士でも考えさせる。 ・教諭研究授業（日）	授業参観シート（整理会） ノートチェック（月末） 児童アンケート（月末） 検証テスト（月末）
2				採点集計・データ処理 分析・指導改善の課題発見 原因究明	・対話でお互いの考えを深められるようにする。 ・書いた考えやまとめを共有し、問われていることに適切に表現できているか児童同士でも考えさせる。 ・教諭研究授業（日）	授業参観シート（整理会） ノートチェック（月末） 児童アンケート（月末） 検証テスト（月末）
3		次年度目標	次年度学校目標の方向性	・自校誤答分析 ・課題発見・原因究明	・対話でお互いの考えを深められるようにする。 ・書いた考えやまとめを共有し、問われていることに適切に表現できているか児童同士でも考えさせる。	ノートチェック（月末） 児童アンケート（月末） 検証テスト（月末）

※行事等には、県基礎学力調査、全国学力・学習状況調査、市町や学校で行われる学力調査等を位置付け、現状把握や成果・課題の分析に活用する。